



【第1回】

サクラ(染井吉野)

春に一度に満開になり、潔く散る桜のイメージはソメイヨシノのものです。エドヒガンとオオシマザクラの交配により生じたとされ、若木の頃からよく花をつけること、葉が開くより先に一斉に花を咲かせることから広く日本中に植えられました。一方で材が弱くウロがきやすく、樹齢50年を超えると樹勢の衰えから花付きが悪くなり、100年を超える古木はまれです。ただ、ソメイヨシノは江戸時代に作られた、桜の中でも新しい品種であり分からないことも多く、管理さえきちんとなれば、寿命はないとする説もあります。

いずれにしろ、開学34年目の桜並木は今が壮年期で、今年も華やかな桜吹雪を見せてくれるでしょう。

VOS

VITALITY
ORIGINALITY
AND
SERVICES

長岡技術科学大学 広報



NO.157
2010.April

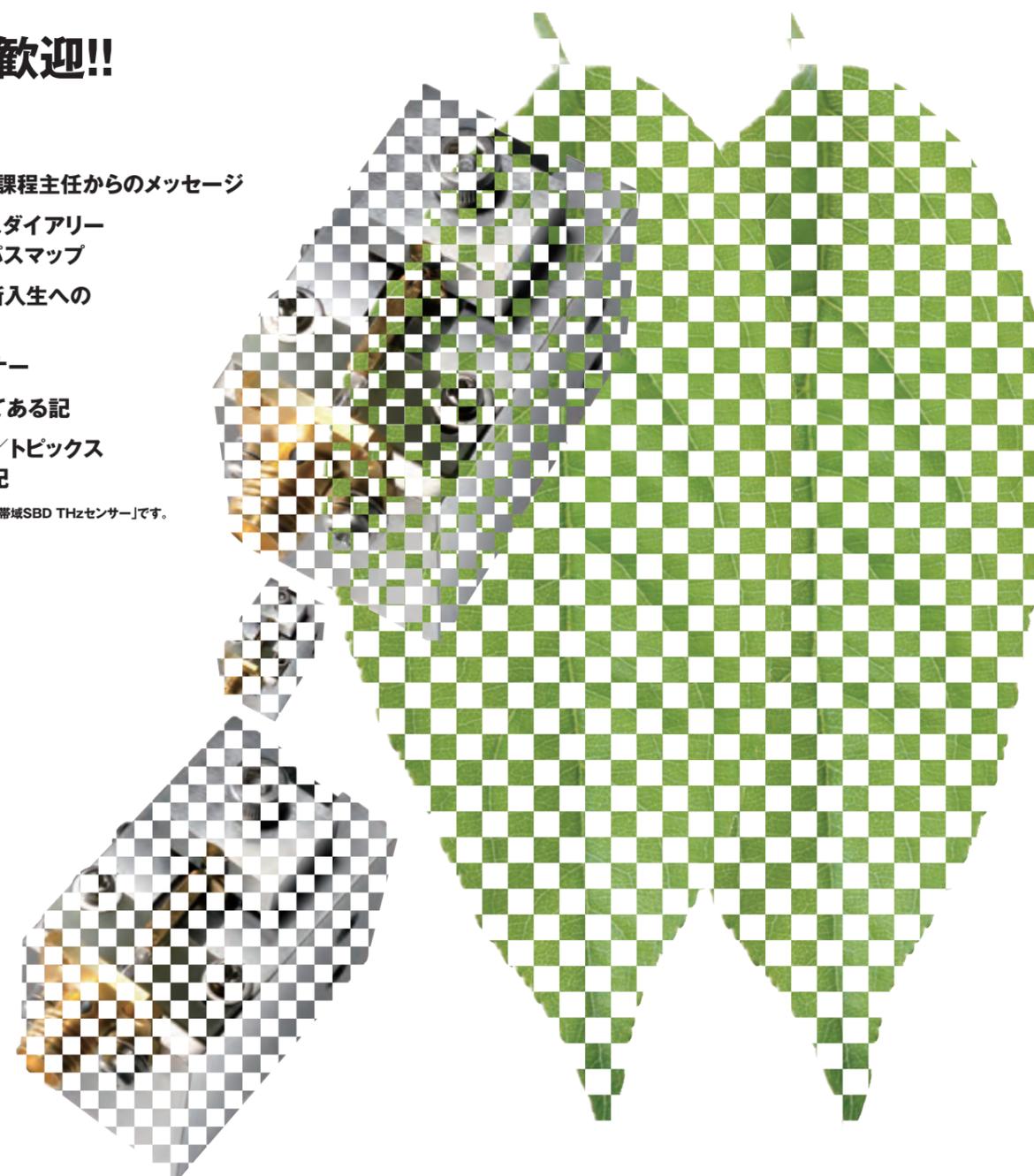
特集

新入生歓迎!!

CONTENTS

- 02_ 学長告辞
- 04_ 副学長・各課程主任からのメッセージ
- 08_ キャンパスダイアリー
／キャンパスマップ
- 10_ 先輩より新入生への
メッセージ
- 14_ 就職コーナー
- 15_ ギダイみてある記
- 16_ 技大の樹／トピックス
／編集後記

表紙の金属機械は「高速広帯域SDB THzセンサー」です。



トピックス

TOPICS

新着ニュース

- 2010.03.25 平成21年度学部卒業式・大学院修了式を行いました。
- 2010.03.16 第5回国際連携教育シンポジウムを開催しました。
- 2010.03.12 国際アジアシンポジウムに経営情報系 李志東教授が出席しました。
- 2010.03.10-12 JENESYSプログラム研修旅行を行いました。
- 2010.03.08 渡邊副学長が「日墨米3国協働プログラム」の第3回コンソーシアム会議に出席しました。



「日墨米3国協働プログラム」第3回コンソーシアム会議

編集後記

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。私たちは本学を志して入学したみなさんを心から歓迎し、これからの大学生活が少しでもより充実するようにお手伝いをしていきたいと願っています。さて、この入学号には先生方や先輩方からの様々なアドバイスが満載です。それを何気なしに読み飛ばすのではなく、もし一つでも心に残ってこれからの生活に活かせるあなたは、本学に入学したばかりなのにすでに一歩前進しています。同じ大学で同じ環境にいても感覚が違うと得られるものは大きく異なります。どうか感度の鋭い人になってください。(山本和英)

VOSの由来 本学のモットーである、Vitality, Originality, Servicesの頭文字をとって、本学初代学長の故川上正光氏により名付けられました。



VOS NO.157 [平成22年4月号]

編集発行 長岡技術科学大学広報委員会[総務部 総務課]

◎本誌に対するご意見等は下記までお寄せ下さい。

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1

Tel.0258-47-9209 Fax.0258-47-9000

E-mail : skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp URL : http://www.nagaokaut.ac.jp/

学長告辞

新入生のみなさん、
 入学おめでとうございます。
 今回の特集は、学長、副学長、
 各課程主任、先輩からの
 新入生へのメッセージをご紹介します。

未来社会の入り口は長岡にあり!

新入生の諸君 入学おめでとうございます。本日はここに998名の新入生を迎え入学式を挙行することができました。教職員を代表して心よりお祝いを申し上げます。留学生の諸君は、遠い祖国の家族から離れ、文化と習慣、そして自然環境が大きく異なる、ここ長岡の地によくこそ! これからの本学での毎日は楽しいことだけではなく、非常に厳しい事態が生じることも有ると思いますが、大学として諸君に最大限の支援をしますので、安心して頑張ってください。

この冬は例年以上の雪が各地で降り、大学周辺でも1m近くの積雪があり、数年ぶりに厳しい冬を体験しました。しかし、長岡もようやく暖かい日差しが降り注ぐ季節となり、桜前線が長岡に到達するのも間近になりました。学部生や留学生諸君は初めて長岡の桜を見ることになりませんが、学内の桜、特に事務局から学生食堂に続く桜並木は見事なものです。また、市内には悠久山公園を始め桜の名所が何か所もありますので、休日や時間を見つけて堪能してください。

さて、社会の急速なグローバル化の進展によって、高等教育研究機関として大学が果たすべき使命は益々重要になっています。すなわち、大学には技術立国として科学技術の分野で我が国が今後も指導的な役割を果たしていくために、構想力、創造力、突破力に富んだ総合的な人間力のある人材を輩出することが強く求められています。長岡技術科学大学は全国に立地する高専及び工業高校との協働によって、長期的な教育方法と大規模な研究組織

からなる高度教育研究機関を形成しています。このような大きな仕掛けをもった教育研究機関は世界に類を見ないものです。

また、本学では5ヶ月以上もの長期にわたる実務訓練を行っており、近年は海外の一流の研究機関や企業での実務訓練も活発に行われています。また、海外の大学とのツィニングプログラムなどの新しい教育研究システムも数多く取り入れています。長岡は、豊かな人間性と環境とブランド米やメタンの産出などで知られています。この長岡の特徴を生かして、本学には環境、バイオ及びエネルギーに関する先進研究地域の学術センターが設立されています。更に、本学には安全工学、ロボット工学及び材料工学の分野などで世界をリードする研究者が集まっています。加えて、原子力に関する専攻を平成24年4月に立ち上げるべく学内で検討しています。原子力に関連する学問は一言では言い表せないほどに幅広く、機械、電気、化学、生物、建設等の知識の集大成です。本学ではこの分野に安全を付け加え、まだ、仮称ですが、原子力安全工学専攻の設立を検討しています。私は、このような研究を通して本学から、今後も世界をリードする技術科学が発信され続け、それを通して未来社会で持続的に貢献できる実践的で創造的能力を備えた指導的技術者を輩出できると信じています。

このような先取的な教育や卓越した研究成果は、高専や工業高校との強い連携をもつ本学にしかできない特徴です。この他の大学にないユニークな本学での経験を通して人間力を

養い、自信を持って社会に旅立った卒業生たちは、既に全世界の企業から高く評価されており、国立大学法人として全国トップクラスの就職実績を誇っています。また、先輩方は国内外の企業で経営者及び技術者として、また、大学や研究機関において指導的な研究者として活躍しています。

私は、昨年9月に本学の第7代目の学長に就任いたしました。本学は、学生数や教職員数が大きくも小さくもない適正な規模であり、社会の急激なグローバル化の進展に伴って変わりつつある、高等教育研究機関として大学が果たすべき使命に柔軟に対応できる教育研究組織体です。この特徴を生かした本学の将来在るべき姿について、就任後から本学の教職員、卒業生、高等専門学校の方々と、そして地域の方々と繰り返し意見交換をし、本学の将来構想の作成を終えつつあります。この将来構想の中から「本学の目指すべき大学像」を以下に紹介します。

1. 本学に関係する全ての者が本学の将来に対して自信と誇りを持てる大学、
2. 変貌し続ける社会に対応できるソリューションを提供する唯一無二の大学、
3. 地域の素晴らしい人間性と文化を背景に、対話を重視し、関係する全ての人々の間の壁を突破し、真の相互理解をもった大学、
4. 高専や工業高校との連携を更に深め、世界に類を見ない大規模な高等教育研究組織体として従来型教育では難しい先進的な考え方を打ち出せる大学、

5. 学生や若手教員が自由な発想で勉強や研究が出来る環境を整備し、人材や組織と共に継続的に発展させる大学。

このような大学を創り上げることにより、「長岡技術科学大学のブランド」に相応しい人材を輩出することに全力を傾けます。諸君と一緒にこのような大学を創り上げていきたいと思えます。

昨年12月に新しく作成した本学のロゴマークは、長岡のNをモチーフにデザインされたもので、天に伸びる青色は環境を表し、それをリング状の赤色が包むことで、地球環境を愛情と情熱をもって考える大学であることを示したものです。今後は、あらゆるものにこのマークを使用して行く予定ですので、諸君にも活用してもらい大学の広報活動に協力してもらいたいと思えます。

私は、「人間には限界がない」と信じています。これは、一般に限界は自分自身で作るものであり、自分を信じる人間には限界はなくなり、無限の可能性が生まれるからです。この可能性を追求するためには絶え間ない努力と自己変革が必要です。私達は、諸君の持つ能力を最大限に引き出し、幅広い領域に積極的に踏み出せる人材の育成に努力します。

諸君のキャンパスライフ、そして、家族から離れての長岡での毎日が充実した光り輝く日々となることを祈念します。

未来社会の入口は長岡にあります。一緒に輝かしい未来を創りましょう!



長岡技術科学大学長

新原 皓一

KOICHI NIIHARA



副学長



副学長(教務、組織担当)
中村 和男

KAZUO NAKAMURA

◆ 新入生を迎えて「長岡で学ぶということ」

学部、大学院の新入生の皆さん、おめでとうございます。この越後そして長岡という地で、将来の技術者・研究者を目指して勉学を始めることになります。昨年のNHKの大河ドラマ「天地人」では、与六(のちの直江兼統)と喜平次(のちの上杉景勝)が、少年期に中越古刹の禅寺「雲洞庵」で共に学んだことが、その後の彼らの英知、人格、信頼関係形成の基盤となったとして、ドラマの底流になりました。また、長岡の藩校「崇徳館」では、「米百俵」の故事(戊辰戦争で敗れて長岡藩の財政が窮乏した際、近隣の三根山藩から米百俵の救援を得たが、それを藩士に分け与えるのではなく、「食えないからこそ教育を」とこれ

をもとに、明治2年に国漢学校を開いた)で知られる小林虎三郎をはじめ、幕末から明治にいたる時代を支えた多くの人材を輩出しました。そこでの「常在戦場」等の精神は、長岡大空襲、度々の豪雪、5年前の中越大地震をも克服せしめ、現代長岡の教育に引き継がれています。三十有余年の本学の歴史もこの地に生まれ、根を下ろし、その風土が新たな技術者人材育成の支柱になろうとしています。地球環境問題や経済危機、貧困などに直面する国際社会の諸問題の克服に向けて、このことを心に刻み、誇りをもって学んでいかれることを期待いたします。

機械創造工学課程主任



機械系 教授
福澤 康

YASUSHI FUKUZAWA

◆ 初心忘るべからず

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。機械系の教職員一同心から歓迎します。これから始まる新しい環境での生活に大いなる期待と不安をもっておられると思います。はやく新生活になれて、学生生活を十分に謳歌してください。

“理科離れ”といわれる時代に工学系の本学に入学された皆さんは、科学技術にかかわる志を抱いておられると思います。個人により目指す形態は異なると思いますが、将来を見据えた志をたて、それを実現するための学生生活を送ってほしいと思います。大学は自己研鑽の場であり、大学が一人ひとりと

やかく言うことはありません。そのため、自由な時間がこれまでより多くなりますので、生活パターンも自分で考えていかねばなりません。専門知識を、詰め込むだけでなく、広い教養も必要です。専門書だけでなく幅広い分野での本をたくさん読んでみましょう。体力も鍛えましょう。長岡は山あり海あり(最近海のある町も市に編入されました。)の土地です。特に冬はスキーが身近でできますので、友達と出かけるのもいいと思います。何か困ったことや悩みが生じたときには、身近な友人とともに学年担当教員やサポーター教員にも相談してみてください。

電気電子情報工学課程主任



電気系 教授
江 偉華

WEIHUA JIANG

◆ 期待しています

ご入学おめでとうございます。電気電子情報工学課程教職員を代表して、新入生の皆さんを心から歓迎いたします。

電気電子情報工学課程では、皆さんのために基礎学習から実践トレーニングまでの教育カリキュラムを編成しています。皆さんが将来21世紀の主役としてエネルギー、材料および情報通信分野で活躍できるように期待しながら、最大限にサポートします。また、皆さんが自分の夢と抱負を持って、これからの在学期間について高い目標を設定し、それを目指す努力をするように期待しています。

今後の技術発展は、より緊密な国際協力と、より激しいグローバル競争の中で進められます。そこで求められるのは、広い視野、豊かな協調性、および優れたコミュニケーション能力を有する技術者です。皆さんがこのような視点から自分の学習に着手するように期待しています。

“学如逆水行舟、不进则退。”(学習は水の流れて逆らって行く船の如し、進まなければ後退してしまう。)という中国語表現があります。これから皆さんが自分の目標に向けて精力的に進み、充実した在学期間を過ごすように期待しています。

材料開発工学課程主任



物質・材料系 教授
小林 高臣

TAKAO KOBAYASHI

◆ 気持ちを広く、高遠な目標を

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんは今、胸いっぱいの希望を持って大学生として、新しく歩みだしたところです。新しい環境での出発は、皆が、期待と不安が入り交じり、少し照れくさいという思いを持つでしょうが、共に学ぶための新しい成長の糧となる場にしてください。大学は、自分で決めた将来のための準備の場であることを忘れてはいけません。志を同じにする、共に学びあえる仲間がいること、頼れる先生方や先輩方がいること、そんな心強い味方がいれば、どんな辛いことも苦しいことも、新たな期待と希望に変わり、きつと乗り越えることができると信じています。

皆さんはこれから、物質と材料を学ぶことに

なります。全てがまず戸惑いから始まることになるかもしれませんが、あわてず、ゆっくり、無限の可能性という高い峰を目指して、チャレンジしてください。気持ちを広く、高遠な目標を持つとき、当たり前に見える技術が、実は、色んな基礎事象に裏付けられ、多くの人の手間を経た、叡智の積み重ねである事に、皆さんは気づくでしょう。その時は、それは皆さんの生きている世界が変わるときかもしれません。これから卒業までに、皆さんは、どれほど自分が興味を持っている意味のある問いを見つけられるのでしょうか? そのような発見の手助けするのが私たちの課題でもあり、また皆さんの成長を肌で実感できる私たちの楽しみです。おおいに力をつけて、自分の可能性を広げてください。

建設工学課程主任



環境・建設系 教授
細山田 得三
TOKUZO HOSOYAMADA

◆ ごまかさず考え抜く力を

ご入学おめでとうございます。まずは建設工学課程の職員を代表して皆様に歓迎の意を申し上げたいと思います。
さて、皆さんが大学に入ったこの平成22年はどのような年でしょう。就職難とかデフレとか社会の閉塞を嘆くあまり愉快ではない話題が続いています。一方、地球温暖化に起因する様々な気象災害が毎年報道され、テレビでは朝から晩まで地球環境問題に関する様々な番組やCMが流れ続けています。地球環境問題は新しい時代の1つの旗印となってこの閉塞した時代を開く切り札と見なされているようです。しかし、CO₂濃度は本当に増

加しているのでしょうか、地球環境問題は本当に重要な問題なのでしょうか。普通、人々はこの判断を専門家に委ね自分で考え抜くことをしません。しかし、本当の地球環境問題はこのような意見に対する反論を真摯に検討する中で、その輪郭が浮かび上がってくるのだと思います。大学はそのようなことを考え抜く最後の砦(とりで)だと思って下さい。地球環境問題に限らず、自分が疑問に思ったことをごまかさず考え抜く力を是非大学で身につけてもらいたいと思います。教員や大学の施設設備はそのためにあるのです。若い皆さんに大いに期待しています。

環境システム工学課程主任



環境・建設系 教授
解良 芳夫
YOSHIO KERA

◆ 新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。環境システム工学課程教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎致します。
環境システム工学課程では、従来の学問分野の枠を超えた学際的・複合的な教育と研究を行っています。自然環境の仕組みを良く理解し、環境との調和を常に意識して身近な環境問題から地球規模の環境問題までを、ソフトとハードの両面から幅広く考えることのできる人材の育成を目指しています。
近年、基礎学力の不足した学生が増える傾向にありますが、しっかりした土台なくしては、何事も高いレベルまで到達できません。まず、基礎学力の絶え間ない補強・拡充が

重要です。その上で得意な分野・技術を発展させながら、新たなことへのチャレンジに努めましょう。大学では、自ら考え学ぶことが大前提です。待っていても誰も教えてくれないのです。ですから、意欲と目的をもって、知識や技術を積極的に吸収しなければなりません。また、大学時代には、将来にわたり信頼でき理解し合える友人を得やすいものです。そのために、学内や学外の人々との交流を通して、人間的な成長を図る事も重要です。
最後に、皆さんが様々なストレスに負けず、心身ともに健やかに学生生活を送り、本学を無事巣立って行くことを心から願っています。

生物機能工学課程主任



生物系 教授
滝本 浩一
KOICHI TAKIMOTO

◆ 「与えられる」からの脱出

私が大学に入った頃には、人生で何がやりたいのか、大学がどう役に立つのか分からないでいました。たぶん、多くの皆さんも同様ののだと思います。卒業する頃になっても、明確な答えが得られたとは言い難いですが、物事に対する態度や意識にそれなりの変化が起こっていました。一言で述べるのは難しいのですが、「与えられた物をやる」から「自分で調べ考え行動する」への移行であった気がします。
このような変化を引き起こしたのは何なのか? 大学では既知の問題ではなく、解決されていない問題を扱います。多くの場合、問題自体が未設定・不明確です。解決には幅広

い知識そして創意工夫が必要です。先輩も教授も、解決法を知らないあるいは問題が設定出来ないという点では、全く同等です。
こうした環境は、大学に入りたての皆さんには不慣れで、「どうしたらよいか分からない」といった印象を与えるかもしれません。今までは、「答えのある与えられた物」をやれば良かったのに、大学では「何をやるか」「どのようにやるか」を自分で考えないといけない。しかし、こうした大学環境での勉学・研究から逃げずに立ち向かってください。そうした努力が、個人そして社会の将来に役立つ重要な能力を育成するはずです。

経営情報システム工学課程主任



経営情報系 教授
李志東
LI ZHIDONG

◆ 新入生への期待

ご入学、おめでとうございます。
世界金融危機に端を発した経済低迷や就職難。地球温暖化と異常気象、原油価格の乱高下と稀少資源の枯渇……。かつてない難局と課題に我々が直面しています。しかし、立ち止まってはられません。新しい未来を切り開く千載一遇のチャンスとして捉えましょう。特に、明日を担う皆さんに大いに期待したいと思っています。
皆さんには、大局を読む「鷹の目」、時代の流れを読む「魚の目」、そして細部を読む「虫の目」、という三つの目を持ち合わせてほしいと思います。そして責任感、実行力と協調性に富む人材に成長してほしいと願っています。

経営情報システム工学課程には、情報やシステム工学は勿論のこと、経営学、法学、教育学、医学、そしてエネルギー・環境経済学など幅広い分野の専門家が揃っています。お互いに刺激し合い、学際融合と連携を図りながら、教育・研究と実社会の課題解決に頑張っております。
皆さんは管理型社会から、「大学」という自立型社会に一步を踏み出したのです。しかし、決して一人ぼっちではありません。仲間や先輩たちがいます。また、皆さんを全力でサポートするのは、我々の使命です。共に学び、共に成長していきましょう。

自由と責任



機械創造工学課程 4年
(高松高専(現 香川高専)出身)
鎌田 倫行

TOMOYUKI KAMADA

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。長岡技術科学大学で挑戦したいことがある人もこれから探していく人もそれぞれこれからの期待や不安を抱いていることでしょう。正直、去年の私は知らない土地での初めての一人暮らしということで不安のほうに勝っていました。しかし、そんなスタートだったからこそ私の経験から伝えられることもあると思います。

大学のスタイルは基本的に自由です。授業科目、サークル、アルバイト、研究テーマ…全て自分で選択していかなければなりません。入学当初は初めてのことでばかりで判断基準がなく苦労するでしょう。そ

のとき、周りの人に聞くということはとても重要です。先生方や先輩から聞くのでも同年代でネットワークを築き教えてもらうのもかまいません。ただ、忘れてはならないことは自分の決めた選択に責任を負うということです。新しい生活は楽しいことばかりではなく、時間に追われ何もかも投げ出してしまうこともあります。そんなとき責任転嫁したり、選択自体を反省したりしてもその状況は変わりません。

情報を集め選択することは今後の人生にも関わることです。まずは、これからのよりよい学校生活に向けて自分の判断を大切にしてください。



留学生スポーツ大会にて

有意義な時間を過ごせるように



電気電子情報工学専攻 2年
(長岡高専出身)
柴木 優美

YUMI SHIBAKI

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新しい生活がスタートしますね。そんなみなさんに、私の経験をもとに、大学生活の過ごし方について少しアドバイスをしたいと思います。

大学生活は自由に使える時間が多いです。それだけに、使い方はよく考えないといけません。学業に専念することはもちろんですが、学業以外でも、「自分はこれをがんばった!」と自信をもって言えるもの一つは作るように時間を使うといいと思います。アルバイトなりサークルなり資格取得なり、なんでもいいです。就職活動の時、キラッと光る自己PRにもなりますよ。個人

的には、英語学習をオススメします。新入生の中には、英語が苦手な人がたくさんいると思います。しかし、これから日本がグローバル化するのは間違いありません。世界を相手にする企業に就職するのであれば、英語は必須になってくるでしょう。語学習得は勉強さえすればなんとかなります。ただ時間がかかるので、学生のうちに身につけておくに越したことはないでしょう。

長い人生から見れば、大学時代はとても短いですが、多くのことを学べ、成長できる時間です。その貴重な時間を有意義に過ごせるようにがんばってくださいね。



研究室での弥彦山登山

学生実験がポイント!!



材料開発工学課程 4年
(群馬高専出身)
田村 奈津子

NATSUKO TAMURA

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この原稿を執筆するに当たって、私も1年前の入学当初のことを思い返してみました。私は、新しい環境になかなかなじむことができず、いつも苦労していました。高専の5年間はクラス替えがなかったので、5年ぶりに全く知らない人の中に入っていく大学は不安と緊張でいっぱいだったことを覚えています。

しかし、私の心配をよそに長岡ではすぐに友達が出来ました。特に週3回ある学生実験の中で、必然的に同じ班になった人と話したことが良かったのだと思います。技大の利点として、3年次の編入生が多いため友達作りやすいという点はよく挙げられますが、これは本当にすごいこと

だと改めて感じています。他大学に編入した友達からは、話せる人が全くない、分からないことを聞ける友達がいない等の悩みをよく耳にします。知らない土地、初めての一人暮らし、新しい学校と不安要素はたくさんあり、高専と大学の制度の違いにもとまどい毎日大変な中で、クラスに話せる人がいるということはとても助けになりました。また、秋に配属された研究室では、先輩方が長岡のオススメのお店から研究内容まで幅広く親切に教えてくださり、一気に大学になじむことができたように感じています。

大学での新生活は楽しみな反面、大変なことたくさんあると思いますが、きっと技大ではすぐに友達を作って大学のペースに乗ることが出来ると思います。頑張ってください。



研究室の先輩方と

気の合う友人と楽しい大学生活を送ってください



建設工学専攻 2年
(阿南高専出身)
橋本 詩穂

SHIHO HASHIMOTO

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学の大きな特徴は、「自分で決めて行動しなければならぬ」ということです。例えば、講義の履修は、膨大な講義の中から、何がしたいか、何単位必要か、といったことを考えながら、自分で決めなければなりません。また、講義を受ける教室はたまに変更されることもあるので、講義前に掲示を見ることも忘れてはいけません。

さて、ここまで読んで「大丈夫かな」と不安になった人もいると思います。そんな人には、友人をつくることをお勧めします。あなたが掲示を見忘れていても、友

人から教えてもらえるはず。もちろん、不安に思っていない人も友人をどんどんつくってください。技大には様々な地域から学生が集まっているので、自分が今まで行ったことのない場所の人と話すチャンスがたくさんあります。そんな人たちと一緒に大学生活を送ることで、様々な視点で物事を見ることができるようになるでしょう。そろそろ桜が咲き始めるので、大学内でのお花見、また、海水浴や技大祭、スキーなども友人とともに楽しんでください。

大学生活はあっという間です。卒業するときに悔いの無いよう、一日一日を大切に過ごしてください。



白根でヤギに餌をやっているところです

◆ Nagaoka University of Technology
Where You Can Make Your Dream Come True



エネルギー・環境工学専攻2年
(ベトナム出身)
グエン カオ イー
NGUYEN CAO Y

Firstly, I would like to say that welcome you all to Nagaoka University of Technology where you can study and create a sound basic to make your dream come true, I hope that all of you will be very happy here.

The student life is one of the most important parts in the life of each people because you will have a lot of beautiful memories during this life. In addition, this period is very important to collect the professional science knowledge before you become a global citizen and go out the modern industrial society. Therefore, I would like to have some advices for the new students from my experience during three years that I studied in Nagaoka University of Technology.

The effective plan of student life is a necessary tool for each new student and the determination to do it as your best is very important. You can control your time based on this plan that can make your life more interesting. Because you do not only concentrate your time on the research or

getting courses but also you can spend time for the interesting clubs in our university or having your part time job in Nagaoka city.

Nagaoka University of Technology is an international education environment in Japan. Hence, you can improve your English level not only from English courses but also from communication with many international students who are studying in this university.

Finally, I hope that all of you will have a nice student life and create a sound basic for your future. All good wishes for a very happy and enriching time at Nagaoka University of Technology.



The graduation ceremony of foreign students in Nagaoka University of Technology.

◆ 目標を明確に



生物機能工学専攻2年
(八戸高専出身)
堀川 千聡
CHISATO HORIKAWA

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。みなさんはさまざまな志を胸に抱いて新生活を始めたことと思います。私も今のみなさんと同じように、大学生活で広がる自分の可能性に胸を膨らませて入学しました。今のみなさんと同じ気持ちで入学し、この大学で3年過ごした私からみなさんに一番伝えたいことはその志を持ち続けてほしいということです。大学生活では楽しいこともつらいこともたくさんありますし、これまでよりも自由であるがゆえに自らが選択し決断しなければならない状況も多くなります。そしてそのときにはその志や目標に沿った決断を

してほしいと思います。たとえばサークル活動ならば、どのサークルに所属するのか、そこに入部してどのような活動を行って、それを通して何を学んでいきたいのかを意識しながら活動することで、なんとなく活動している人よりも得るものが大きくなるのだと思います。

大学では知識だけではなく友人や恩師との出会いなど、これからの人生で大切になる多くの財産を得ます。なにか迷ったときには他の人のアドバイスを視野を広げてもらうことも大切です。将来を見据えて、楽しい大学生活を送りましょう。



研究室旅行での1枚

◆ 新入生の皆さんへ



経営情報システム工学専攻1年
(サレジオ高専出身)
吉田 翔太郎
SHOTARO YOSHIDA

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの大学生活に向けて、多くの期待と不安を抱えていることでしょう。いよいよ最後の学生生活が始まるわけですが、大学生活をより有意義なものにするために、簡単なアドバイスを送りたいと思います。

大学では自己管理がとても大切です。何をすることも、自分から行動を起こさなければ、何も始まらないからです。高校や高専とは違って、大学はとても自由です。時間を自分の好きなように使うことができます。裏を返せば、怠けて単位がとれなくても、進級ができなくても、すべて自己責任です。日々を無駄にしない

ためにも、まずは目標を立ててみましょう。「遅刻をしない」「勉強を頑張る」といった漠然とした目標でも良いと思います。その上で、その目標を達成するための計画を立てましょう。目標を持ち、計画を立てて行動すれば、時間を有効に使うことができ、充実した大学生活を送ることができると思います。

また、より充実した大学生活を送るためには、遊ぶことも大切です。ときに息抜きをしながら、楽しい大学生活を送ってほしいと思います。たった数年間ではありますが、一日一日を大切に、メリハリのある大学生活を送ってください。



研究室旅行での1枚

◆ 「心技体」で学生生活を!



システム安全専攻2年(社会人)
勤務先:
鈴木労働安全コンサルタント事務所
鈴木 信義
NOBUYOSHI SUZUKI

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます! 人生の新たな第一歩ですね。

今、皆さんはこれから始まる大学生活に期待と不安が混ざりこざの中にいることと思いますが、皆さんにはこれからの生活の中、想像を絶する人生最大の時空間が待っていますよ。このチャンスをぜひ「心技体」で楽しんでください。と言っても武士道ではありません。

多くの先生方・友人・地域の方々・世界の人達との一期一会を大切に、ぶつかることを恐れず「心」で交わってみてください。

学業やクラブ活動・学祭などの学内生活を大いに楽しみながらも、多くを見・聞・考して知識を吸収し知恵を育て、学「技」を会得してください。

今やPCを前にしたバーチャルはとても便利ですが、ぜひ実際に自分の足と意思で野に、街に、海に出て、汗を流し、涙を拭いて、実「体」験をして欲しいと思います。

私も学生生活はあっという間でした。社会に出て長年を建設の現場で過ごした中、「誰もが安全に働く」にはどうしたらよいかについて、経験だけではなく学問的な骨組みを学びたいと思うようになり、昨春に35年

ぶり2度目の入学式を技大で迎えました。仕事をしながらの熟年学生にとり、時間も体もオツムも中々ハードですが、情熱ある先生方の講義を同じ志の社会人仲間と楽しんでいます。

Time flies! さあ皆さん、目の前の時間を「大事に暖める」ことなどしてしないで、どんどん「消費」して学生生活を「心技体」で過ごしてください。



群馬の山で、趣味のきのこ狩りを終えてご満悦です

就職

就職力は普段の積極的・主体的姿勢から

就職委員長
武藤 陸治
YOSHIHARU MUTOH

本学の就職状況は、これまで就職希望者に対してほぼ100%の就職率を達成してきており、全国の大学の就職率の高い大学のトップグループにいます。しかし、昨年度は、厳しい経済状況を反映し、本学でも就職率が低下しています。2010年3月期の東証上場企業の経常利益総額は、前期比で約1.5倍と大幅な増益となるようです。しかし、就職環境の改善には時間的な遅れがあり、しばらくは厳しい状況を覚悟しなければならないと思います。本学では、企業説明会や、企業の人

事担当者による模擬面接試験とアドバイスなどを企画しています。積極的な参加をお願いします。就職に際しては、技術者としての基礎学力が大事ですが、同時に物事に取り組む熱意・意欲、およびコミュニケーション力(聞く力、話す力)を強く求められます。これらは突然身に付くものではありません。普段から積極的に授業や演習・ゼミに取り組み発言する、課題研究や修士研究に主体的に取り組むことにより次第に身に付きます。是非そのような姿勢で学生生活を送るよう期待しています。

「緑」を探して数多くのチャレンジを

勤務先
sysmex
シスメックス株式会社
診断システム開発本部

宮澤 拓未
(平成21年3月 生物機能工学専攻修了)
TAKUMI MIYAZAWA



同期花見にて(筆者、左下端)

私が就職活動を通じて感じたことは、就職は「縁」だということです。企業によって、当然、欲しい人材は違います。同じ企業であっても、年度ごとに欲しい人材が違ってきます。おそらく私も、1年、修了年次が違っていたら、当社から内定はもらえなかったと思います。

私は、最終的には3社から内定をいただきましたが、それまでに10社以上不合格になりました。しかし、内定をいただいた企業では落ちる気配が全くありませんでした。内定をいただける時は、お互いの要求が合致している時なのでこのように感じ、それが「縁」なのだと思います。

しかし、採用試験を受ける前から、どの企業と縁があるのかは分かり

ません。なので、皆さんもたくさんの企業を受けてみてください。きっとあなたに合った企業があると思います。私は、当社に入れて良かったと思っていますし、そう感じることも縁なのだと思います。同じ年に同じ企業に採用された同期は似たもの同士が選ばれているため、とても気が合います。内定者のうちから、キャンプや飲み会ですぐに仲間になりました。

落ちたときには、人格まで否定されたように感じ、しんどいと思います。私もそうでした。しかし、縁がなかっただけですので、気持ちを切り替えて、新しい出会いのためにいろんな企業にチャレンジしてみてください。

ギダイみである記

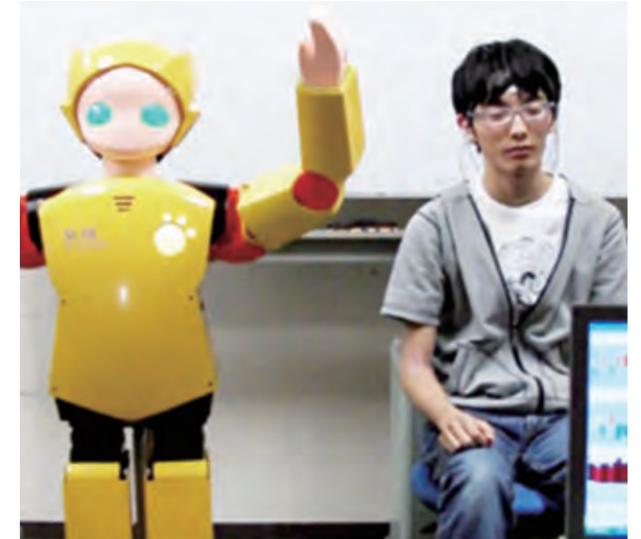
GIDAI
MITE
ARUKI

カオス・フラクタル情報数理工学研究室

カオス・フラクタルってなんだろう? ~他系の学生からみた研究室~



脳波でロボットを動かす体験



感情でロボットを動かす様子



近赤外分光計測



きめ細かさの測定の様子

この研究室ではフラクタル解析を用いて脳波を解析しています。

フラクタル解析では従来の特定の周波数成分による脳波解析とは異なり、今までノイズとされていた高周波成分も含めて解析しています。これにより、人の感情などの主観的で評価の難しいものを定量化することが可能になり、今まで捉えられなかった細かな喜怒哀楽などを捉えることができます。この技術によって、ロボットの動作を脳波で制御したり、私たちの身の回りにある製品の改良に役立てたりしています。また、フラクタル解析を使って肌のきめ細かさの解析なども行っています。

研究室でははじめに企業と共同開発したシャンプーやテニスラケットなどの紹介を受けました。

脳波解析によってシャンプーの爽快感・清涼感や、テニスラケットの打球時の快さを分析することができ、ヒトの感性に訴えかける製品の開発を行っています。

脳波によるロボット制御は実際に体験させてもらいました。ロボットを脳波によって制御するために額に電極を4つと耳に1つ付けます。これらの電極で脳波を計測することができ、計測された脳波を用いて感性解析を行います。集中したときはグラフの上側の波形が、リラックスしているときは下側の波形が大きくなり、リラックスした状態から集中するとロボットの左腕が大きくなり、集中を解くと腕は下がりもとの位置へ戻ります。頭にさらに電極をつければ感情も表すことができます。将来的には介護などの場

で私たちが考えるだけで介護用ロボットが動いてくれるようになることを目指しているそうです。

この研究室の研究は他系の私からみても興味を惹かれるものが多かったです。ロボットのソフトウェアや人の心や感情の研究をしたい人には向いている研究室だと思います。



研究室を紹介してくれた学生
電気電子情報工学専攻2年
安部 大介(仙台電波高専)(右)
大橋 正(長岡高専)(左)



ギダイみである記取材班
環境システム工学専攻2年
藤田 学斗(津山高専)(左)
坂本 朝子(長野高専)(中)
環境システム工学課程2009年度卒業
松浦 祐樹(群馬高専)(右)